



福山市坪生町 松岡 敏晃さん（76歳）

共済加入で備える

【水稻共済】

私の住む地域は田の面積も小さく、小規模農家が多いところです。農地転用が進み、集団営農などは難しく、水稻共済は一筆方式の加入ばかりです。

私自身は、農機具をそろえたり、ジャンボタニシやヌートリアなどの被害対策で手間や費用はかかりますが、自分が育てた作物の収穫は嬉しいものです。

今から7年前の収穫前に秋ウンカが大発生し、農業をどうしようかと思うくらいでしたが、共済金をもらい頑張れました。

2005年から損害評価員として、被害申告された農地を毎年見て回りますが、イノシシに荒らされた田や、一昨年のもう大雨のときに土砂に埋もれた田を目のあたりにすると、共済制度の必要性を強く感じます。

水稻共済が任意加入になり、一筆方式は2年で廃止になりますが、一筆半損特例の導入はいい措置です。最近では異常災害ばかりです。共済への加入で備えておこうと思います。

▷水稻40㍓